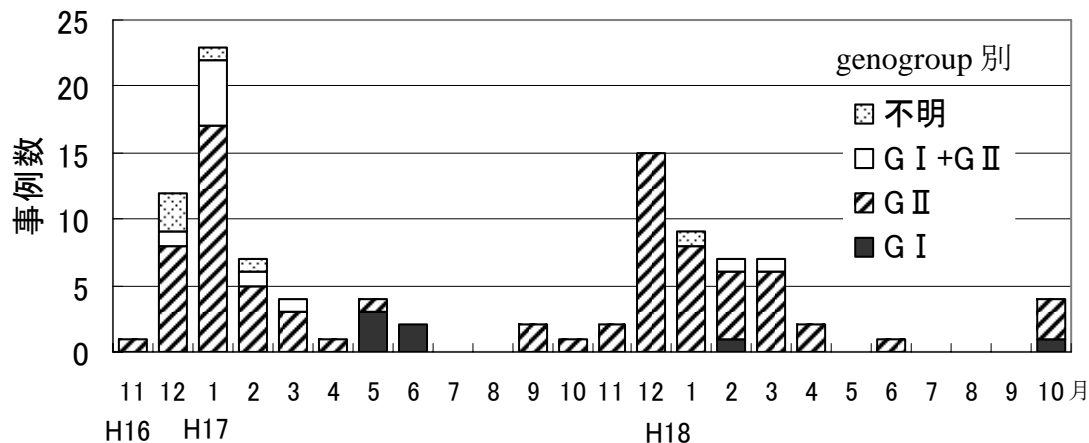


ウイルス性胃腸炎

埼玉県衛生研究所では、食中毒を含む集団胃腸炎事例の原因病原体究明として、県内在住の患者、施設の調理従事者等のウイルス検査を実施しています。平成16年11月から平成18年10月の2年間に164事例の検査を実施し、102事例でウイルスが検出されました。検出されたウイルスは100事例がノロウイルスで、ロタウイルスとサポウイルスが1事例ずつでした。下図には月別のノロウイルス検出事例数を、genogroup ごとに示しました。図中「不明」とあるのは電子顕微鏡による検査を実施したため genogroup 別ができなかった事例です。

平成16年から17年にかけては、高齢者福祉施設における集団胃腸炎が多発したため、検出事例数も増加しています。高齢者福祉施設で検出されたノロウイルスはほとんどがGIIに属するウイルスでした。平成17年5月、6月にはGIによる集団胃腸炎が続けて発生しましたが、これらの事例では臨床症状が比較的穏やかだったことが特徴的でした。平成17年から18年にかけては、集団発生は若干早く始まり、12月の検査事例数が多い状況でした。各年とも6月まで検出が続きました。

今シーズンも10月に入ってから集団発生の報告が増えています。11月には中高年者の集団胃腸炎からロタウイルス（A群）が検出されました。ノロウイルスとあわせて、注意が必要と思われます。



ノロウイルスが検出された集団発生事例